

いけん　き　きかん　意見  
意見を聞く期間　2025年12月12日（金）から2026年1月13日（火）まで  
しやくしょ　たんとうか　ちいきかつやくぶ　たようせいしゃかいきょうそうか  
市役所の担当課　地域活躍部　多様性社会共創課

## いけん　き　りゆう 意見を聞く理由

とよたし　豊田市は、「こどもがいろいろな生き方、暮らし方を選ぶことができる」、「みんなが安心して自分らしく暮らすことができる」まちを目指すため、「第4次豊田市国際化推進計画」を作っています。  
けいかく　よ　いけん　おし　いけん　さんこう  
この計画を良いものにするために、みなさんの意見を教えてください。みなさんの意見を参考に  
ねん　がつ　けいかく　かんせい　よてい  
して、2026年3月までに計画を完成させる予定です。  
いけん　じょうほう　とよたし　かんが　つた  
みなさんの意見や情報をまとめて、豊田市の考えをまとめてからみなさんに伝えます。  
ひとり　いけん　しやくしょ　かいとう  
(一人ひとりの意見に市役所から回答はしません。)

## いけん　だ　かた 意見の出し方

いけん　にほんご　か　めーる　いけん　だ　ばあい　がいこくご　か  
※意見は日本語で書いてください。Eメールで意見を出す場合は、外国語で書くことができます。  
だい　じ　とよたしこくさいかすいしんけいかく　か  
※まず、「第4次豊田市国際化推進計画について」と書いてください。  
つぎ　じゅうしょ　なまえ　いけん　か　した  
※次に、「あなたの住所」、「あなたの名前」、「あなたの意見」を書いて、下の①～④のうち、どれかの  
ほうほう　だ  
方法で出してください。  
でんわ　いけん　い  
※電話で意見を言うことはやめてください。

### ちよくせつ　も　ばあい ①直接持ってくる場合

ちいきかつやくぶ　たようせいしゃかいきょうそうか　も　き  
地域活躍部　多様性社会共創課に持って来てください

ばしょ　とよたしこさかほんまち　とよたさんぎょうぶんか　せん　た　かい  
(場所：豊田市小坂本町 1-25 豊田産業文化センター2階) ※TIAと同じ建物の2階です。

### ゆうそう　ばあい ②郵送する場合

「〒471-0034 豊田市小坂本町 1-25 豊田産業文化センター2階 多様性社会共創課 行き」

ふうとう　か　きって　は　おく  
と封筒に書いて、切手を貼って送ってください。

### ふ　あく　す　ばあい ③ファクスの場合

0565-31-3270　おく  
に送ってください。

### めーる　ばあい ④Eメールの場合

[kokusai@city.toyota.aichi.jp](mailto:kokusai@city.toyota.aichi.jp)　めーる　おく　がいこくご　いけん　だ  
にEメールを送ってください。(外国語で意見を出すことができます。)

## 第4次豊田市国際化推進計画（素案）についての意見を外国語でも受け付けます

意見は原則日本語で受け付けますが、日本語を書くことが難しい人は、次のやり方で意見を出すことができます。

### ◆外国語で意見を出す場合

豊田市多様性社会共創課へ必ずEメールで出してください。

Eメールアドレス：[kokusai@city.toyota.aichi.jp](mailto:kokusai@city.toyota.aichi.jp)

ポルトガル語、ベトナム語、中国語、タガログ語、英語以外の言葉で出された意見は、多様性社会共創課で日本語に機械翻訳します。

(注意)

機械翻訳なので、正しく翻訳がされないこともあります。

### ◆その他

意見の出し方で分からないことがあったら、多様性社会共創課に聞いてください。



Eメールアドレス：[kokusai@city.toyota.aichi.jp](mailto:kokusai@city.toyota.aichi.jp)

電話：0565-34-6963

せさく たいけいず  
**施策体系図**

基本理念 <= 計画の基になる考え > 「多様な市民と共に創る多文化共生都市・とよたの実現」

目標		どのようなことをしていくのか	おも と く 主に取り組むこと
1 人々がお互いを大切に し、支え合 うまちを つくる こと	ひとびと が お 互 い を 大 切 に し 、 支 え 合 あ う ま ち を つ く る こ と	(1) 外国人住民がまちの活動に加わり、元気に活躍するために、以下のことをします。	
		①スムーズなコミュニケーションと社会への参加のための日本語教育	そうごうてき 総合的 な にほんご 日本語 教育 推進 せさく 施策の体系化 がいこくじん 外国人 の ようじ 幼児向け にほんご きょうしつ 日本語教室 の かいさい 開催 がいこくじん 外国人 じどう 児童 せいと 生徒 等 きょういく 教育 の さらなる じゅうじつ 充実 とよた にほんご がくしゅもえん しすてむ うんえい とよた日本語学習支援システムの運営
		②外国人の地域社会への参加をサポートすること	がいこくじん 外国人 の ちいきしやかい 地域社会 さんか 参画 せいしん 推進 がいこくじん 外国人住民 が ちいきかつどう 地域活動 に さんか 参加 しやすい かんきょう 環境づくり
		(2) いろいろな文化を大切に作る気持ちに広がり、みんなで助け合うために、以下のことをします。	
		①いろいろな文化を認め合う心を育てること	やさしい にほんご 日本語 の ふきゅう 普及、 たぶんかきょうせい 多文化共生 の りかいそくしん 理解促進
		②いろいろな文化の共生を助ける中心人物と協力して、つながりを強化すること	たぶんかきょうせい 多文化共生 の にな て 担い手 づくり
		(3) いろいろな人が自分らしく、安心して生活していくために、以下のことをします。	
		①子育て・こどもの教育のサポートをすること	たぶんか こそだ 多文化子育てサロン の さんか 開催 がいこくじん 外国人 の ようじ 幼児 向け にほんご きょうしつ 日本語教室 の かいさい 開催 【再掲】 がいこくじん 外国人 じどう 児童 せいと 生徒 等 きょういく 教育 の さらなる じゅうじつ 充実 【再掲】 がいこくじん 外国人 せいしん 青少年 せいしんがく 学習 支援・ にほんご 日本語 がくしゅ 学習 を 通じた しゅうがくさぽーと いはしょ 就学サポート・居場所づくり
		②暮らしに役立つ情報を知らせ、相談にのること	たげんごか 多言語化・やさしい にほんご 日本語 の かつよう 活用 いりよう 医療、 ぶんし 福祉 に かん 関する じょうほう 情報 の たげんご 多言語 での ていきょう 提供 がいこくじん 外国人 さんだん 相談 まどぐち 窓口、 豊田市 たげんご 多言語 サービス デスク、 さいびす ですく、 でんわつうやく 電話通訳 サービス
		③防災、防犯対策・交通安全・緊急対応のサポートをすること	きんきゅうメール 緊急メールとよたの多言語化 ぼうさい 防災パンフレット ぼうさいとらのまき 防災虎の巻 たげんごか 多言語化、 こみゆにけいしん しえん ぼーど うんよう さいがいじ コミュニケーション支援ボードの運用（災害時） こうつうるーる しゅうち つう 交通ルールの周知などを通じた外国人が安心・安全に暮らせる環境整備
		④仕事につくためのサポートをすること	きやりあ けいせいえん キャリア形成支援 しゅうろう 就労のための にほんご がくしゅう 日本語学習 たよう 多様な人材の じんざい 活躍推進

2 活 躍 で き る 人 び を 地 域 社 会 で と	国 際 社 会 及 お よ び 地 域 社 会 で と	(1) 国際理解が地域を支え、学びをみんなに広げるために、以下のことをします。	
		①国際理解教育	こども向け国際理解教育 しみんむ 市民向けの こくさいりかい 国際理解の せんとく 促進、 出前講座の せいしん 促進 こくさい いべんと 国際イベントにおける こうりゅうじぎょう 国際交流事業 たよう 多様な主体と連携した 国際交流の せいしん 推進
		(2) 国際的な見方を持つ人を育てるために、以下のことをします。	
		①国際交流の場を広げ、未来を担う人を育てること	とよたし 豊田市で とろいと市 姉妹都市 交流 とよたし 豊田市で だーびーしゃーけん 国際交流センター 交流 とよたし 豊田市で トレヴェリアン基金を活用した 国際交流 促進 はけんけいけんしつ 派遣経験者 活躍機会 の せいしん 創出 ぐろーばるじんざい 国際人材の 育成

だい じ とよたし こくさいかすいしんけいかく  
第4次豊田市国際化推進計画について（概要版）

やさしい日本語

◆基本理念＜＝計画の基になる 考 え＞

「多様な市民と共に創る多文化共生都市・とよたの実現」

「いろいろな個性を持つ市民が、互いの違いを認め合い、共に地域をつくることができる豊田市」を目指します。

新しく計画に入れる 考 え

外国人住民を「助けてもらう人」ではなく、「地域を共に支える仲間」として活躍してもらうこと

◆計画の目標

1 人々がお互いを大切にし、支え合うまちをつくること

外国人住民が地域で活躍し、自分たちの文化を大切にしながら支え合い、みんなが自分らしく安心して暮らせるまちをつくる。

2 国際社会と地域社会で活躍できる人を育てること

姉妹都市交流などの国際交流を通じて、豊かな国際感覚と幅広い考え方をを持った、これからの国際社会や地域社会で活躍できる市民を育てる

◆施策の柱＜＝どのようなことをしていくのか＞

1 人々がお互いを大切にし、支え合うまちをつくること

（1）外国人住民がまちの活動に加わり、元気に活躍するために、以下のことをします。

- ①スムーズなコミュニケーションと社会への参加のための日本語教育をサポートすること
- ②外国人の地域社会への参加をサポートすること

（2）いろいろな文化を大切にする気持ちがまちに広がり、みんなで助け合うために、以下のことをします。

- ①いろいろな文化を認め合う心を育てること
- ②いろいろな文化の共生を助ける中心人物と協力して、つながりを強化すること

（3）いろいろな人が自分らしく、安心して生活していくために、以下のことをします。

- ①子育て・こどもの教育のサポートをすること
- ②暮らしに役立つ情報を知らせ、相談にのること
- ③防災・防犯対策・交通安全・緊急対応のサポートをすること
- ④仕事につくためのサポートをすること

2 国際社会及び地域社会で活躍できる人を育てること

（1）国際理解が地域を支え、学びをみんなに広げるために、以下のことをします。

いろいろな国や文化を知ってもらい、理解を広めること

（2）国際的な見方を持つ人を育てるために、以下のことをします。

国際交流の場を広げ、未来を担う人を育てること